

## ニュース・年間行事

### ■ 2014 年

○ 11 月 10 日 ドイツ・バイエルン州経済省企業誘致部から貢献企業として表彰されました

ドイツ・バイエルン州経済省企業誘致部のインベスト・イン・ババリアは、今年で発足 15 周年を迎えるのを記念し、11 月 4 日（火）、同州に拠点を置く日系企業約 30 社を招いて東京のホテルで式典をおこないました。その式典で同州経済に多大な貢献をした日本企業 11 社が表彰され、当社はその 1 社に選ばれました。現在、同州には約 420 社の日系企業が拠点を設けており、ますます増える傾向にあるとのこと。当社は、1987 年に同州のアウスブルクに拠点を置く粉体処理装置の老舗企業アルピネ社をグループに加え、以降グループの主要拠点のひとつとして、同州から世界各国へ粉体処理装置の輸出を行ってきたことが評価されました。



○ 11 月 20 日 [新製品] 流動層式対向型ジェットミル ホソカワ/アルピネ カウンタジェットミル AFG-CR の販売を開始



カウンタジェットミル AFG の分級機能を強化し、超微細加工による粉体製品の高付加価値化需要に対応した新製品カウンタジェットミル AFG-CR を販売開始しました。当装置は、遠心力型気流分級機を搭載した流動層式対向型ジェットミル AFG の分級部に用いる分級ロータの形状を改良することで、分級性能を向上させ、従来装置の約 1/2 の平均粒子径を持つ微粉製品の製造を可能にしました。

○ 11 月 21 日 薬剤塗布型 PTA バルーンカテーテルの非臨床試験成績の医学雑誌掲載について

当社およびアンジェス MG 株式会社（本社：大阪府茨木市、代表取締役社長：山田英）、メディキット株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：栗田宣文）の共同研究開発プロジェクトである NF- $\kappa$ B デコイオリゴ塗布型 PTA バルーンカテーテルの動物試験成績に関する論文が、循環器領域の医学誌「Circulation: Cardiovascular Intervention」に掲載されました。本研究成果は、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合機構の平成 19 年度橋渡し促進技術開発の委託事業および平成 21 年度第 2 回イノベーション実用化助成事業の助成対象として採択されたプロジェクトの成果であり、国立大学法人大阪大学大学院医学系研究科において実施されたものです。



○ 11 月 26 日～28 日「粉体工業展 2014」に出展（於：東京ビッグサイト（東京/有明））

国内外の納入事例などを交え、機器導入のご検討材料となる情報のご提供およびご相談にあたらせていただきました。今回は、新型分級機内蔵カウンタジェットミル AFG-CR 衝撃型分級機内蔵微粉碎機 ACM パルペライザ E-ACM 小型汎用微粉碎機 UMP 小規模研究開発用卓上ラボ機ピコライン 減圧吸引型篩エアジェットシーブ e200LS 減圧吸引型篩エアジェットシーブ MAJS 新型湿式篩ヴィブレット VBL

粉体力学特性評価装置パウダテスタ PT-X 等の装置と受託加工、受託測定、メンテナンスサービス、マテリアル等の事業および海外子会社が持つ主要技術について、実機とパネルによる展示を行いました。

○12月22日 プラスチック薄膜関連企業の買収について

プラスチック関連企業 Anton Kolb Maschinenbau GmbH（ニーダーカッセル市、ドイツ）を買収いたしました。同社は、1947年に創業し、当社海外子会社のホソカワアルピネ社（アウグスブルク市、ドイツ）が展開するプラスチック薄膜関連事業の分野で、フィルムの引き取り装置および巻き取り装置の開発・製造・販売を中心に事業を展開する企業です。また、アルピネ社とは、1970年代からこれらの装置の共同開発をはじめ、装置の提供元として協力関係を築いてきた企業でもあります。

○12月25日 英語版ウェブサイトをリニューアルオープンいたしました。

#### ■ 2015年

○1月23日 創業100周年記念スローガンがきました

2016年4月に創業100周年を迎えるにあたり、記念スローガンによる企業PRを開始しました。＜創業100周年記念スローガン＞粉とともに100年 粉体技術で世界を変える

○1月23日 平成26年度（第35回）優秀省エネルギー機器表彰において超微粉砕機「グラスシス」が日本機械工業連合会会長賞を受賞

一般社団法人日本機械工業連合会は、昭和55年度より国の省エネルギー推進政策に呼応し、機械工業の立場からこれを推進するため、省エネルギー効果の著しい産業用機器を開発、実用化した企業等を表彰する



事業を実施しています。当表彰において、当社超微粉砕機「グラスシス」が日本機械工業連合会会長賞を受賞しました。

○2月6日 英文の粉体工学専門誌“KONA”をホソカワ粉体工学振興財団のWebサイトに公開しました。

○3月10日 PLGA ナノ粒子のGMP基準量産体制を確立

当社は、2011年から株式会社野村事務所（東京都港区）および株式会社大阪ソーダ（東証1部、4046）の子会社サンヨーファイン株式会社（大阪市西区）と共同でGMP基準のPLGAナノ粒子の量産拠点を構築すべく、野村事務所を通じてサンヨーファインへの製造技術の移転を進めてきましたが、技術移転が完了し、世界初となるGMP基準によるPLGAナノ粒子の大規模製造拠点の確立に至りました。

○6月2日 [新製品・新技術] 攪拌型凍結乾燥機 ホソカワ/ミクロン アクティブフリーズドライヤ AFDの販売を開始



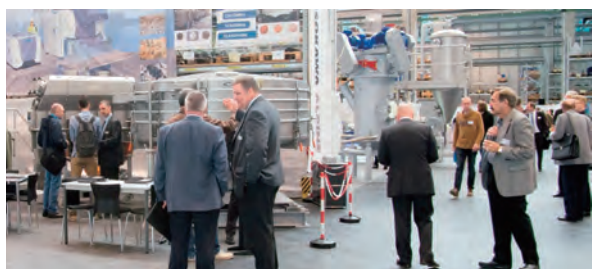
攪拌型凍結乾燥機アクティブフリーズドライヤ AFDを2015年7月から日本でも取り扱い開始しました。当装置は、2006年にオランダ子会社ホソカワミクロンB.V.が開発し、医薬、食品市場を中心に展開を図ってきた装置です。現在、これらの市場は日本やアジア地域でも安定した推移を示しており、人口増や生活水準の高度化による高付加価値製品の需要加速が予測され、今後ますます事業の拡大が期待できる

分野であると判断し、当装置の導入を決定しました。従来から用いられてきた棚型凍結乾燥装置は、装置が大がかりで、原料や乾燥製品の入替等に人手を要する工程が多い上、乾燥に時間を要します。これに対し、攪拌型の当装置はこれら棚型の弱点を克服する機構と技術的発想を取り入れることで、凍結乾燥技術ばかりではなく粉体技術に大きな進歩をもたらしました。

○6月3日～5日 「第7回化粧品産業技術展 CITE Japan 2015」に出展（於：パシフィコ横浜）

国内最大級の化粧品技術である「第7回化粧品産業技術展 CITE Japan 2015」出展しました。今回は、当社独自のDDS（ドラッグ・デリバリー・システム）材料であるPLGA ナノ粒子を用いた「ニキビケア・毛穴トラブルの改善技術」を中心に最新技術を紹介しました。PLGA ナノ粒子（毛穴への浸透性と持続性が特徴のニキビケア・毛穴ケア技術、ニキビ用・毛穴ケア用PLGA ナノ粒子、PLGA ナノ粒子を使った機能性化粧品）、機能性化粧品OEM（各種スキンケア、パウダー状美容液、ファンデーション、ヘアケア、育毛剤など）、有効成分封入（オリジナル機能性原料の開発）に関する受託研究について展示しました。

○6月17日～18日 社内展示会「アルピネエキスポ2015」を開催



ドイツ子会社のアルピネ社（アウクスブルク市／バイエルン州）で、2015年6月17日（水）、18日（木）の2日間にわたり、社内展示会「アルピネエキスポ2015」を開催しました。ドイツ国内を中心に他のヨーロッパ諸国をはじめ、アメリカ、中東、北アフリカ、インド、中国などから2日間で約600名の来場があり、国際色豊かな展示会となりました。

○7月8日～10日 「材料界面の評価と制御に関する国際会議 ICCCI2015」（於：倉敷ロイヤルアートホテル）で企業展示を行いました。

## 編集後記

今年は、素粒子ニュートリノが質量を持つことを示すニュートリノ振動の発見で東京大学宇宙線研究所所長の梶田隆章教授がノーベル物理学賞を受賞されました。一方、大きな粒子（？）では、五郎丸歩氏らの活躍により、ラグビーの第8回ワールドカップでは「史上最大の番狂わせ」で日本が24年ぶりに勝を得て、俄かに注目されるようになりました。あの非球形ボールを遠距離からボールの間に蹴り込む見事な制御性と再現性には感心させられます。

また、今年の11月には、戦後初の国産ジェット機YS-11以来50年振りにMRJが開発されてその試運転に成功しました。この小型ジェット機は1機47億円、10年間に5000台、23.5兆円の市場があり、その半数のシェアを見込んでいるとのこと。とはいえ、産業、経済界に直接的で、より大きな影響があるのはやはり自動車産業でしょう。2014年には世界で約9,000万台の四輪車が生産され、これらは多くの産業と結びついています。

今年はドイツ大手企業によるディーゼル車の不正な排ガス規制回避の問題や、シェアが大きかっただけに結果的に莫大な補償に繋がったエアバッグのリコールなどの暗いニュースも見られましたが、二次電池を使ったHEVやPHVなどのハイブリッドカーがますます一般化すると共に、2014年末より燃料電池を使ったFCVも発売開始されています。また、今年は自動運転システムがますます現実性を呈すると共に、空飛ぶ車も実用化されつつあるようです。これらの開発においては、自動車に使われている電池や磁石をはじめ数多くの部品を構成する高性能材料やそのものづくり粉体技術が様々な形で貢献しています。

さて、本号は、2015年9月に開催されました第49回粉体工学に関する講演討論会、ならびに昨年11月に開催されました第21回ホソカワ粉体工学シンポジウムの講演内容の特集に加えて、ホソカワミクロン株式会社創業100周年記念号として、ホソカワグループの世界の主な研究開発拠点のリーダーからの寄稿を掲載しました。本誌につきまして、ご意見、ご要望等がございましたら、何なりと事務局までご連絡頂ければ幸いです。よろしくお願い致します。

---

“粉碎” No.59 (2016)

2015年12月15日 発行

出版責任者 横山 豊和

発行 ホソカワミクロン株式会社

大阪府枚方市招提田近1丁目9

印刷 (株)NPC コーポレーション

大阪市北区天満1丁目9 -19

---